

海外生活レポート

アフガニスタン 7

Norko Dethlefs(紀子・デスレフツ)さん

アフガニスタンの冬

しばらくは雪続きで、樹々に氷柱がきらめく美しい雪景色が楽しめましたが、ここ数日は太陽が顔を出しています。寒さが解けるみたいでほっとします。ところで冷蔵しなければならない食材は、冬の間は外に置いたコンテナで保存する方が良いのです。冷蔵庫には(スイッチを切って)余り冷やしたくないものを入れておきます。大雪が降ると停電になりやすく、蓋のない溝や水道管は凍って流れがとて悪くなります。それに悲しいことに、文字どおり凍死する人も出るそうです。雪の重みで屋根が押し潰されないように、屋根の上でスコップで雪下ろしもしなければなりません。お金がなくて家の暖房ができない人も大勢います。友人のひとりで18歳の甥を亡くした人がいます。(アウトドアで料理する時に使うので)こちらで一般に「ピクニック」と呼ばれているガスボンベをお風呂場に持ち込んで、暖を取ろうとしてガス中毒で亡くなったのだそうです。

大学での苦勞

大学の最終試験では何に苦勞したかって、3時間、戸外で半分凍りついていたなんていうことではありません。それより何より、生徒たち(彼ら自身、教壇に立つ身なのですが)は公然とカンニングはするわ、成績を良くしてもらおうと賄賂を押し付けてくるわで、そっちの方がずっと大変でした。中でも極めつけは主任教員による採点でした。30点満点の試験の得点を100点満点に換算するのに、この人は単純に得点に70を加えるのです。だから30点満点で15点を取った学生の成績は100点満点では、85点になります。もちろん、学生は大喜び。私が彼女に100点満点に換算する方法を教えたあげたら彼女はものすごく感心して、私を数学科に推薦してくれると言っていました。

街での苦勞

いろんな目に遭いますけど私は街に行くのが大好きです。男の子たちが、たった1ドルで靴を磨くために私を蹴つまづかせようとしたり、「体重を計って紙に書いてあげるよ」と言いながら新しい秤(はかり)とやらに私

を乗せようとしたり。しかも紙(シート)を「シット」(=畜生!)と発音するのです。台所用ナイフを売っていた子なんか、売ろうと夢中になってナイフ片手に切っ先をこちらに向けて「すごく安いよ!すごく切れるよ!」と大声で叫びながら私を追いかけて来ました。

村への訪問

ある日、私は共同体改善プロジェクト(CDP)のメンバーの女性たちに連れられて村を訪問する機会を得ました。この日は1日かけて村の女性たちと女の子たちを集めて衛生に関する話をしたり、ジャガイモと南瓜の料理法を実演したりしました。村人たちの住居は本当に閑散としていて、寒くて靴下を3足重ねて履いていても足が氷のように冷えてしまいました。でも、みんなが紫色になった素手と素足で我慢している中では、とても手袋なんてする気持ちになれませんでした。子ども達にお菓子を持っていく代わりにソックスを持って行ってあげればよかったと、今だに思います。お菓子を差し出して「ひとつずつね」と言ったのだけど、どうやらみんな「片手にひとつずつ」だと思ったみたいです。一斉に私を取り囲んだのは、髪はくしゃくしゃだし鼻水を垂らしてはいるけれど、本当にすばらしく可愛い子ども達でした。その中にひどく鼻を詰まらせた女の子がいたのでお湯で鼻を洗浄してあげたら、鼻水といっしょに沢山の蠅の死骸が出てきたのには驚きました。また、激痛を伴う難産で子供を産んだ14歳の女性もいました。しかも、「痛かったのはお前が夫に不従順だからだ」と言われて、夫の足を洗った水を飲まされたそうです。生んだ赤ちゃんは亡くなり、彼女は離婚されて、CDPメンバーの女性に「あなたが悪いんじゃないのよ」と言われるまでは落ち込んでいたのだそうです。

画期的な出来事!?

オフィスで昼休みに、フィンランド人の女性と私とで女性のための体操クラスを始めました。地元の女性たちもみんなすごく興奮して参加したくてたまらない様子なのですが、でも「必ずドアに鍵をかけてカーテンも全部閉めて、それに音楽はかけないでやりましょう。もし男の人に見つかったら私たち、だらしのない女だと思われるから」と言うのです。

それでは、新年 nao roz(3月21日)とともに春が訪れる来月まで。

心からの愛をこめて

紀子

平成19年度 前期語学講座案内

申し込み受付: 3月30日 金 まで
申し込み多数の場合は抽選 定員各25名)

講座名	期間	講師	受講料(税込み)	テキスト代(税込み)
ハングル入門 全12回	4/14~7/21 <毎週土曜日> 午後2:00~3:30	ゆめcoop講師 ソク ジア ゆめcoop講師 クワン ソンイル	15,000円	2,625円
トラベル英会話 (初級レベル) 全12回	4/20~7/13 <毎週金曜日> 午後7:00~8:30	東京女子大学講師 ジョン プラスキー	18,000円	1,890円
フランス語入門 全12回	4/18~7/11 <毎週水曜日> 午後7:00~8:30	日仏学院・神奈川総合高校講師 ジャン バジル ローラン	15,000円	2,730円
中国語入門 全18回	4/14~9/15 <毎週土曜日> 午前10:30~12:00	専修大学留学生 蔣 純青 元小学校教師 曹 丹	23,000円	2,310円
初級英会話 全18回	4/14~9/15 <毎週土曜日> A:午前9:50~10:50 B:午前11:00~12:00	玉川大学助教授 スティーブ リア	19,000円	2,000円
中級英会話 全18回	4/14~9/15 <毎週土曜日> 午後2:15~3:45	順天堂大学講師 トレバー モレイ	27,000円	2,000円
おやこ英語教室 2~4歳児とその母(父) 全8回	4/17,24 5/8,22 6/5,19 7/3,17 <月2回火曜日> 午前10:30~11:30	東洋英和女学院中高等部講師 メアリー ノブオカ	8,000円 (定員15組)	教材費 2,000円

申し込み方法: 電話 044-435-7000(9:30~16:00受付)、FAX 044-435-7010
または協会ホームページ <http://www.kan.or.jp/> のいずれか、からお申し込みください。

編集後記

「外国人市民による日本語スピーチコンテスト」が2月17日(土)に行なわれました。出場者は10名でした。

熱心にスピーチをする姿から何かしら熱いものが私たちにも伝わってきました。一人一人が自分の主張を大切に、きれいな日本語で訴えることができたこの機会は、スピーチを行なった10人の方々にとっては忘れられない経験になったことと思います。

終ってから、東京衣裳物学院の先生方によって着物ショーが行なわれました。今年は帯にアクセントを持たせて、着付けをしていただき、一段と華やかな雰囲気となりました。

なお、副賞として優秀者には川崎ライオンズクラブから商品券が、また参加者全員に、同クラブからお食事会への招待、「創作集団にほんご」から本(中上級の)にほんごが、翌18日には山下秀男評議員のご協力により、すもう部屋(中村部屋)訪問の機会が与えられました。 福井すみ代

川崎市国際交流センター

〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町 番 2号
TEL 044-435-7000 FAX 044-435-7010
<http://www.kan.or.jp/kic/>

